

# 正岡地区まちづくり計画

平成25年3月9日

正岡地区まちづくり協議会

## 正岡地区まちづくり計画

- ♪ ○ 見よ東天のあけの色 昇る朝日は高縄に・・・
- 立岩川の水清く たゆまぬ流れかがみとし・・・
- 国津のもりを中にせる わが正岡の胞よ・・・♪

と 正岡小学校校歌にうたわれているように、正岡地区は自然環境に恵まれ、歴史・文化が豊かな地域である。

本地区の特筆される歴史としては、奈良平城京跡で発掘された多くの木簡の中に風早郡高田郷の男が郷土の特産物を税として納めたことを記した木簡が発見されている。これは、すでに律令政治の中心であった奈良の都と我が正岡の地とがつながっていたことがわかる。また中世の雄、河野氏の興亡と深くかかわる地域でもある。

正岡地区は風早平野の中央に位置し、古くから盛んに農業が営まれ、住民は農業の恵みを糧として穏やかに生活していた。



したがって、農耕生活の心情を表した伝統芸能や伝統行事が守られ子どもたちに受け継がれている。

なお、明治39年には県下に先がけて耕地整理の大事業に着工し、有効な土地改良や土地利用を行うなど先進的な農業振興に取り組み、戦前には県下の模範村と呼ばれていた。

その後、農業は社会の変化に対応すべく柑橘、野菜づくり、ハウス栽培など農業収入を図る経営に努めてきたが、耕作者の高齢化、後継者の減少など農業経営を取り巻く厳しい環境の変化により耕作放棄地の発生など新たな課題も発生している。

このように地域住民の働き方や生活環境は農業が中心であったものから時代とともに変化し若者の多くは松山市中心地に働く場所を求めている。

近年では工業団地が進出したことから地元での就労機会を増やしてほしいなどの意見も出ている。

正岡地区における地域コミュニティについては、農村地域で区長制度が古くから継承されていることから地域活動・地域自治に果たした役割は大きく、現在正岡地区で取組まれている地域コミュニティ活動は地区文化祭・スポーツ活動・敬老行事・秋祭り・ホタルの郷・子どもたちへの伝統行事の伝承・子育て・健全育成・地域の安全安心活動など様々な取組が行われている。

近年“まちづくり”という言葉がよく使われるが、まちづくりの基本は、まずは自分が住んでいる地域コミュニティをベースに、住みよい地域づくりの課題に向き合うことである。そしてその実現のために住民が知恵と力を合わせて急ぐこと

なく、しなやかに“まほろばの里”正岡を創りたいと願っている。

正岡地区まちづくり協議会では加入52団体における年間の取組内容や準備会の段階を含め住民から出された意見・要望、アイデアが400項目余りあり、これをまちづくり計画に取りまとめた。

従来からとかく行政に頼り切っていたコミュニティづくりを、市民と行政のパートナーシップのもとに、連携・協働しながら、より良い地域づくりに取り組んでいきたいと考えている。



正岡地区まちづくり協議会  
会長 西原 豊 徳

# 正岡地区まちづくり計画 体系図

【将来像】

しなやかに笑顔で拓くまほろば正岡

【テーマ】

地域の夢を育むまちづくり

幸せを感じ誇りの持てるまちづくり

ふれあい支え合うまちづくり

安全・安心に暮らせるまちづくり

【目標】

各団体間の連携・事業調整・協力  
人材の発掘と育成  
財政の安定化と組織の強化  
まちづくりについての広報強化

すぐれた自然環境の保全と農業の活性化  
地域の伝統、文化等の保護継承の活動  
地域全体の人々が楽しく参加できる事業活動

高齢者支援事業の充実  
子育て支援の充実  
環境保全の促進

防犯及び交通安全活動  
自然災害対策の推進  
青少年の健全育成活動

テーマ	地域の夢を育むまちづくり
-----	--------------

目標に基づく活動方針と取り組み内容

目 標	主な取り組み	取り組み内容	短期	中期	長期	実施主体		優先 ランク	担当部
			1～3年	4～7年	7年～	住民	行政他		
各団体間の 連携・事業 調整・協力	各団体の活動状況の把握	各団体の活動を調査し、データベース化する			→	○		A	企画・広報部
	団体間の連携と事業調整	各団体間のスケジュールの調整並びに連携を図るため年度の初めに連携・調整会議を開く			→	○		A	
人材の発掘 と育成	各団体から人材の推薦	加入団体に人材の推薦を依頼する			→	○		A	
	女性参加の促進	女性が参加しやすいイベントを行う			→	○		A	
財政の安定 化と組織の 強化	活動に見合った適正な会費の設定	協議会の活動、事業に見合った会費について検討協議する	→			○		A	
	役員、スタッフの研修会等への参加	まちづくり関係機関の実施する研修会、セミナー等に積極的に参加する			→	○		A	
まちづくり についての 広報強化	情報の発信	定期的に広報紙を発行する			→	○		A	
	住民からの情報の提供、収集	住民からの情報の提供を受ける仕組みをつくる			→	○		A	

テーマ	地域よさを生かし、幸せを感じ誇りの持てるまちづくり
-----	---------------------------

目標に基づく活動方針と取り組み内容

目 標	主な取り組み	取り組み内容	短期	中期	長期	実施主体		優先 ランク	担当部
			1～3年	4～7年	7年～	住民	行政他		
すぐれた自然環境の保全と農業の活性化	正岡物産まつり	地域農産物の新鮮市を各地区のイベントに合わせて開催すると共に地産地消を推進する			→	○		A	まちおこし部
	農業の魅力の発信	耕作が難しくなった農地を農業に興味を持つ人に貸与する。併せて農業の魅力を伝える		→		○	○	B	
	ホテル育成事業と環境保全	ホテルの育成活動を通して地域の環境問題を考える			→	○	○	A	
	「結い」の農業経営	農家同士がつながって共同協力し、心の通う営農活動をする			→	○		A	
地域の伝統、文化等の保護継承の活動	正岡ふるさとカルタの活用	地域の自然、年中行事、文化財等を読み込んだカルタを活用し、ふるさとの良さを普及する			→	○		A	
	地域の歴史文化を継承発展させる人材の発掘	優れた知識や技能を有する人材を調査してデータベース化する			→	○		A	
	文化財めぐりウォーキング	文化財を巡るウォーキングコースを作成し、地図化して解説を加える	→			○		A	
	八竹山を整備し公園化	整地、植樹等を行い定期的な保安全管理に努める			→	○		A	
	伝統行事を通じた青少年の健全育成	伝統行事の実施と掘り起こしをして、子どもたちの活動の場づくりを行う			→	○		B	
地域全体の人々が楽しく参加できる事業活動	地区の祭り、イベント等の調査と参加	各地区の祭り、イベントを把握し、参加を呼び掛ける			→	○		B	
	正岡盆踊り大会	地域全体が参加する盆踊り大会を企画検討する		→		○		C	
	水辺公園を活用した各種イベント企画	お花見、いもたき大会等を企画検討する		→		○		C	
	立岩川の桜並木と遊歩道の整備と活用	川の堤防沿い桜を中心に水仙・コスモスなどを植え、快い遊歩道にする			→	○		B	
	マラソンの里としての立地を生かす	マラソン大会を活用し、地域を活性化する			→	○		A	
	若者が集まれる仕組づくり	若者や女性が気軽に集まり交流ができる仕組をつくる			→	○		C	
	スポーツの交流とコミュニティづくりの支援	軽スポーツなどを取り入れ、より多くの人たちがスポーツを楽しめる機会をつくる	→			○		A	

テーマ	ふれあい支え合うまちづくり
-----	---------------

目標に基づく活動方針と取り組み内容

目 標	主な取り組み	取り組み内容	短期	中期	長期	実施主体		優先 ランク	担当部
			1～3年	4～7年	7年～	住民	行政他		
高齢者支援 事業の充実	高齢者の支援	各地区敬老行事を支援する			→	○		A	福祉・ 環境部
		正岡高齢クラブ連合会の組織づくりを支援する	→			○		A	
	在宅福祉サービスの充実	給食サービスを実施する			→	○		A	
		高齢者見守り活動の充実を図る			→	○		A	
		ゴミ出し等の生活支援者を確保する			→	○		A	
	買物弱者への支援	お買い物送迎バスの運行を支援する			→	○		A	
		路線バス見直しへの対応を検討する			→	○	○	A	
	子育て支援 の充実	未就学児童支援	新入学児童に教材・学用品等を支援する			→	○	○	
子育てサロンの活動を支援する					→	○	○	A	
就学児童支援		休校日の児童を支援する			→	○	○	A	
		安全な遊び場を確保する			→	○	○	A	
		児童館の建設を要請する			→	○	○	A	
環境保全の 促進	ゴミ減量と分別の徹底	ゴミステーションの巡回指導と啓発活動を行う			→	○		A	
	道路河川等の環境美化	地区住民への啓発と清掃活動を行う			→	○	○	A	

テーマ	地域住民が安全・安心に暮らせるまちづくり
-----	----------------------

目標に基づく活動方針と取り組み内容

目 標	主な取り組み	取り組み内容	短期	中期	長期	実施主体		優先 ランク	担当部
			1～3年	4～7年	7年～	住民	行政他		
防犯及び交通安全活動	○通学路等の交通事故多発場所の把握 ○治安上要注意・危険場所の把握・改善 ○高齢者被害の「振り込め詐欺」等被害防止の広報活動	まち歩きによる通学路等危険個所の点検を実施する			→	○	○	A	安全・安心部
		広報活動により、地域住民への周知徹底を図る			→	○		A	
		民生児童委員・見守り員等と連携して広報活動を行う			→	○	○	A	
自然災害対策の推進	○南海地震対策 ○台風・大雨等対策	地震による津波等の避難方法の具体化を図る			→	○	○	A	
		地震の揺れによる家具等の転倒被害防止の広報活動を行う			→	○		A	
		広報活動により、避難指定場所等の周知徹底する			→	○	○	A	
		自主防災組織や関係機関・団体等と連携して避難訓練を実施する			→	○	○	A	
青少年の健全育成活動	○関係機関・団体等との連携による情報収集と見回り活動	青色防犯パトロール等を重点的に実施する			→	○	○	A	
		学校・防犯協会・警察等と連携を行う			→	○	○	A	